

ひなまつり会

令和7年3月3日(火)

記録の視点 幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

- 健康な心と体
- 自立心
- 協同性
- 道徳性・規範意識の芽生え
- 社会生活との関わり
- 思考力の芽生え
- 自然との関わり・生命尊重
- 数量や図形、標識や文字などへ関心・感覚
- 言葉による伝え合い
- 豊かな感性と表現



ひなまつりとは、3月3日の桃の節句のことで、女の子のお祝いをする行事のことです。ひなまつりに飾る雛人形は、子どもたちのかわりに病気や事故から守ってくれるとされており、女の子が元気で幸せになるようにお祝いの気持ちや願いを込めて飾ります。毎年、幼稚園のひな人形を飾るのは、ひまわり組の担当です。今年もお遊戯室のステージにひな人形を飾ってくれ、そのお人形を見ながら各クラスでひな人形の制作をしました。



ひなまつり会では、園長先生からひなまつりの由来を聞いたり、みんなでひなまつりクイズに挑戦したりしました。クイズを頑張ったご褒美に、お菓子のプレゼントを探しの探検にも出かけ、みんなでひなあられを食べ、昔ながらの行事に触れながらとっても楽しい会になりました。



ひまわり組と、もも組・すみれ組が2~3人組になって、一緒にクイズに答えました。



ひなあられとカルピスをおやつにいただきました。みんなで女の子の節句をお祝いできてよかったね！



クイズに正解した数が多い順から、幼稚園内に隠されたお菓子の詰め合わせを探しに行きました。見つけると大喜びでした。



この日のクイズのために、クラス担任からひなまつりに関する知識をたくさん教えてもらっていた子どもたち。難しい問題もありましたが、友達と一緒に一生懸命考えて答えていました。

